

平成 22 年度第 2 回常任理事会議事録

日 時 平成 22 年 9 月 11 日(土) 14 時～ 17 時

場 所 東海軒会館 5 階会議室

出席者 高木会長他 36 名

高木会長あいさつ

本日は、暑い中お集まりいただきありがとうございます。

表彰者選出などたくさんの議題がありますので、スムーズな進行にご協力をお願いします。

<議題>

1. 22 年度表彰者の選出

日連地方功労者 石田秀明（富士宮市役所）

日連優良団体 浜松早起会

県連功労者 遠藤茂子（クレソソフテニスクラブ）

大庭清巳（YOKOHAMA）

高田静彦（健友クラブ）

由比藤文子（巴クラブ）

佐々木正夫（掛川ジュニアソフテニスクラブ）

県連優良団体 東海大学開発工学部ソフトテニス部

浜松大学ソフトテニス部

- ・日連地方功労者をさらに 1 名追加するため、10 月中旬に総務委員会を開催し、推薦者 1 名を選出する。
- ・協会によっては推薦しにくい状況があるので、県連で推薦する者と各協会（団体）が推薦した者と合わせ、総務委員会で推薦候補者を決め、常任理事会に諮る。

【検討事項】

- ・学連所属の静岡大学ソフトテニス部を静岡県連から日連優良団体として推薦可能か日連に確認する。

（答え）日連に確認をし、推薦可能

【意見】

- ・小さな協会、高体連、中体連、県小学生部会、県シニア会からの推薦が少ないので、来年度からもっと推薦をしてもらいたい。

2. 23, 24 年度役員改選に伴う選考委員の選出について

10 月中旬に総務委員会を開催し、新役員の選考をする。

3.各団体からの意見、要望事項

- ・ユニフォームに対する要望（レディース連盟より）
 - ①最近の気象状況や沖縄インターハイの情勢から夏場の長袖およびアンダーギアの着用等、ユニフォームのルール改正を日連に要望してほしい。
 - ②県連主催の大会は大会要項にユニフォームの条件を明確にしてほしい。
- （答え）通常の大会はハンドブックによる。大会によりオーバーウェアおよび長袖シャツは認めている。

<報告>

1. 22年度上半期の活動報告

- ・主な大会成績
 - 全日本実業団選手権大会で浜松ホトニクスが3位、明電舎が16本
 - 東海中学生大会で望月・楠（岩松中）ペアが優勝
 - 国体東海ブロック大会で少年男子が1位で本大会出場

2. 日本連盟第1回評議委員会の報告

- ・議事内容は配布した会員報に掲載されている。
- ・高校生のシングルス採用について、反対意見が多い。
- ・国体監督は今後、公認スポーツ指導員の資格が必要となる。

3. 公認審判員と技術等級の認定事務処理について

- ・「公認審判員認定登録について」の資料に基づき審判資格受講者に対して、会員登録他について周知をお願いした。
- ・22年度会員登録の未登録団体を公表した。

4. 公認スポーツ指導員養成講習会について

- ・37名が参加し、8月29日～11月21日までの5日間の講習で実施している。

5. 指導者研修会開催について

- ・中学、高校、一般、レディースの強化スタッフのための研修会を11月20日～21日に伊豆長岡で実施する。現在参加募集中です。多くの方の参加をお願いします。

6. その他

- ・（1）大会参加者数推移について
 - ①「大会参加者数推移表」の資料に基づき、特に参加者が少ない大会種別について説明をした。

②全国スポーツレクリエーション大会の参加条件が1回限りとなっている為、県予選の参加数が年々少なくなっている。

今後、シニア委員会、競技委員会で大会の見直しを検討する。

(2) 都道府県対抗全日本中学生大会の選手選考方法について

選手選考方法がわからない人や疑問に感じる人がいるため、選考ルール（誰がどの大会や強化練習で決定するか）を中学生委員会が主体で文書化することにした。

要望事項：選考者は中学生の顧問・監督だけでなく、一般の人を入れてほしい。

(3) ベンチコーチの2級審判資格について

中学生の顧問、外部コーチは大会要項に、「ハンドブックを熟知している者」になっているが、今後の方向を確認した。

22年度、23年度を移行期間とし、24年度から「公認審判員資格者のみ」と考えているが、総会までに検討する。

(4) 台湾交流団訪問計画について

9月16日～9月20日の4泊5日、参加者30名。

沼本副会長あいさつ

長時間に亘り、熱心な討議をありがとうございました。

以上

追伸事項

- ・2級審判講習会について、年間行事予定では平成23年2月6日の開催でありましたが、会場の都合で1月30日（日）に変更しました。（開催案内は後日配布します）